

政策5 住環境と住宅

構成する施策

- 15 公害の防止 17 公的住宅の整備・運営
16 良好な住環境の整備と保全 18 民間住宅の誘導・支援

目標

若者、子育て世帯、高齢者等の多様なニーズに対応した、誰もが住み続けたいような居住魅力と地域の資源を生かした個性豊かな住環境・住宅整備を図ります。

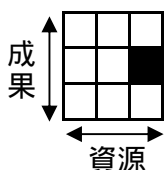
基本方針

市民・事業者・行政の協働による公害のないまちづくりをめざします。また、地域の特性を生かした定住性の高い良好な住環境の整備・保全を図ります。
公共・民間の事業者と協働し、多様な住宅ニーズに対応した施策を総合的・計画的に進めていきます。

考え方

政策の方向性

箕面市市民満足度アンケートにおいては、重要度は中間層であり、満足度は低いいため、市民ニーズ度は高くなっている。今後は、的確な公的住宅の供給管理を計画的に進めるとともに、市民の関心が高まっているアスベスト対策や建築物の安全性の確保など、誰もが住み続けたいと思う住環境の整備・充実をめざし、成果は「維持向上」していくこととし、既存ストックの有効活用や手法の見直し等により、資源は「抑制」していくものとする。



成果	維持向上
資源	抑制

社会状況の変化

少子高齢化の進展、大規模開発による交通量の増加や大気汚染のほか、アスベストや建築物の安全性等、安心・安全な住環境の整備が望まれる。また、住宅政策については、国の住宅セーフティネットの機能向上に向けた公的賃貸住宅制度の再構築の動きも着目する必要がある。

これまでの取り組み

・公害の防止については、各種環境調査により状況を定期的に把握し、環境基準等の目標をほぼ達成できている。
・良好な住環境の整備と保全については、平成15年度の高度地区における絶対高さ規制の導入や市民の自主的なまちづくり活動の結果、地区計画を定める地域が増加してきた。
・新築時の完了検査済証の発行件数が増加し、適正な建築物の建築が進んできた。
・公的住宅の整備運営においては、民間借上方式により市営住宅を計画的に供給してきた結果、一定の成果が上がったが、国の補助金制度や市の財政状況等により、新規供給を控えている。

課題

- ・アスベスト対策等が求められている。
- ・市営住宅の役割の再整理及び市営住宅の供給・管理のあり方等について、制度の廃止も含めた検討が必要である。
- ・誰もが住み続けたいと思う住環境の整備が求められている。

成果指標

成果指標名	基準値	目標値
指標 公害防止計画指定地域に係る評価点数	7.0 点	5.0 点
根拠 安全な住環境を維持していくために、公害防止計画指定地域における環境基準等を超過した項目の評価を指標とする。環境基準を超過する項目が多くなるほど、環境が悪いことを示すため、平成17年度の公害防止計画指定地域の評価点数からの改善をめざし、5.0点を目標とする。		
指標 これからも箕面市に住みたいと思っている市民の割合	80.7 %	83.0 %
根拠 定住の主たる理由は良好な住環境が大きく関係しているため、定住に対する市民の意識を指標とする。第2期実施計画の期間と同レベル(各年度約0.7%)の推移をめざし、83.0%を目標とする。		
指標 市営住宅の入居者の住替え戸数	0 戸	4 戸
根拠 空き家発生時などにおける住替(住替制度)を利用することにより、既存ストックの有効活用を図る指標とする。住替対象となる低層階等の空き家発生が年間1戸程度と考えられるため、4戸を目標とする。		
指標 「あんしん賃貸住宅」に登録している件数	1 件	9 件
根拠 平成18年10月に創設された、高齢者や障害者等の円滑な入居を側面から支援する「あんしん賃貸支援事業」により、民間住宅への円滑な入居の促進を図る指標とする。本市宅建協会と連携しながら、「あんしん賃貸住宅」への登録を年間概ね2件見込み、9件を目標とする。		